

# 議会

# だより



飯田市議会だより

IIDACITY-gikaidayori

編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534



峠の国盗り綱引き合戦  
～遠山郷・兵越峠～

- 第4回定例会 ②
- 議会報告会 ③
- 代表・一般質問 ④～⑦
- 委員会 ⑧～⑪

議会だよりリニューアル  
パイロット版  
～7面に関連記事～

平成30年

# 第4回 定例会

平成30年第4回  
定例会を平成30年  
11月26日から12月  
18日まで23日間に  
わたり開催しました。

平成30年11月26日の開会日に執行機関側から報告案件3件、条例案件11件、一般案件9件、予算案件6件の29議案の提出があり、12月5日の中日に条例案件1件、予算案件3件が追加議案として提出されました。さらに、12月18日の閉会日には、執行機関側から一般案件4件と、委員会発議による議会議案が6件提出されました。慎重な審議の結果、これらの議案を全て可決しました。

請願・陳情では、請願4件、陳情1件の審議を行い、請願3件については「採択」、1件については「不採択」、陳情1件については「採択」としました。

このほか、12月23日に任期が満了となる選挙管理委員及び補充員の選挙を、11月26日の開会日に行いました。



12月20日の議長記者会見  
～第4回定例会を振り返る～

どうなる  
猛暑対策

## エアコン設置を巡って、活発に議論

社会文教委員会における審査を紹介します。



【議案第137号】平成30年度飯田市一般会計補正予算（第8号）の小中学校の空調設備整備事業（エアコン設置）に関して

**Q** 普通教室380室への設置方針が示されたが、次の夏までにどの程度の整備を見込むか。

**A** 詳細なスケジュールの調整を進めているが、現段階では、夏までに全ての小中学校の整備を終えるのは難しく、段階的な整備を予定し、次年度末までに完了できるように調整を進めている。

**Q** 来年の夏までに整備完了が難しいとみる理由は。

**A** できるだけ多くの学校に設置できるように鋭意調査研究を行っている。一方で、地域内の施工業者が限られていることや空調機器の納品までに一定期間を要することなどから総合的に判断した。

**Q** 今回提案のあった予算総額約13億1千5百万円から計算すると、1室あたりの経費は3百万円を越えている。報道されている他の自治体の予算額等と比べても、高額となっている様に見えるが、その点の検証は。

**A** 今回の設置にあたっては、学校の規模や受電設備の改修の有無等により経費も大きく変わってくるため、単に1室当たりの必要経費での議論はあまり適切ではないと考えている。実施設計の段階において精査していく。

**Q** 今回は、普通教室380室の整備を優先し、特別教室や職員室等は2020年度以降、気候状況、社会状況、市の財政状況に応じて整備することであるが、どう判断するか。

**A** 今回の整備でも、多額の一般財源が必要になっている。今回の整備にかかる国の財源措置は、今年度限りのものであり、今後の整備にあたっては、より多額の一般財源を要することになる。今後の整備の判断には、市の財政状況が大きなウェイトを占めるものと考えている。

【議会議案第5号】国に対し、小中学校の空調設備設置に伴う財源確保を求める意見書の提出について

社会文教委員会の審査における動議の提出、可決を受け、同委員会の発議で提出された議会議案第5号は、本会議において全会一致で議決し、国会及び関係行政庁に意見書を提出しました。



飯田5地区ブロック全体会

# 議会報告会 過去最多の参加者654名 感謝御礼

平成30年10月2日から12日にかけて、平成30年度議会報告会を市内7ブロックで開催しました。今回から1ブロック増やしたこともあり、過去最多となる合計654名の市民の皆さまにご参加いただきました。貴重なご意見、ご要望をお寄せいただき、ありがとうございました。

ブロック名	遠山	西部	北部	中部	南部	竜東	飯田5地区	合計
開催日	10月2日	10月3日	10月4日	10月9日	10月10日	10月11日	10月12日	7日間
参加人数	67人	86人	130人	83人	75人	91人	122人	654人



北部ブロック全体会

全体会において、自治基本条例と議会改革の流れ、議会報告会と行政評価について説明しました。(左上段の写真)



遠山ブロック第1分科会

第1分科会(総務委員会)では、地域コミュニティについて(左中段の写真)、第2分科会(社会文教委員会)はコミュニティ・スクールと介護予防について(下段左側の写真)、第3分科会(産業建設委員会)は、産業建設関係のご意見をいただきました(下段右側の写真)。



南部ブロック第2分科会



中部ブロック第3分科会

報告会で市民の皆さまから寄せられたご意見、ご要望等は708件に整理し、内容に応じて議会の委員会に振り分けました。振り分けたご意見等を各委員会において、①市の執行機関に申し送りする事項、②議会で扱う事項に分け、対応を検討します。さらに、議会内でまとめを行い、委員会が抽出した課題等については、調査研究を進めます。



### 市長の市政経営と来年度予算編成方針について ～ リニア中央新幹線関連事業の諸課題への対応は ～



代表質問 会派のぞみ

熊谷 泰人 議員

**Q** 市長は、多様な主体の協働・共創によるまちづくりを進めてきた、その市政経営の総括と今後の進め方は。

**A** 4期目の任期の前半2年が経過し、この間、産業づくり、子育て、教育、高齢者福祉、田舎へ還ろう戦略、その他多くの事柄に積極的に取り組むことができた。関係する皆様のご協力、ご尽力に感謝申し上げる。引き続き、市民の皆さんと一緒に取り組んでいきたい。

**Q** 市長は組合未加入問題をどう捉え、行政としてどのようなサポートをしていくか。

**A** 自治活動組織の活動に協力いたさない方が増えていることは、極めて重要な課題と認識している。行政としては、役員負担の軽減や、加入金、会費、事業の見直し、集合住宅への対応など工夫改善の事例を共有し、地域に合った解決策を話し合う共創の場づくりを支援していく。

**■** リニア中央新幹線に関する諸課題への対応 **■** 公共施設のあり方 **■** 若者定住、産業振興、交流人口の拡大への取り組み **■** 医療、福祉、子育て支援 **■** スポーツ振興と教育 **■** 安全安心な社会、社会基盤整備



### 「人と地域を生かす共生社会」をめざして ～「いいだ未来デザイン2028」の実現に向けた市政経営について～



代表質問 公明党

村松 まり子 議員

**Q** 「いいだ未来デザイン2028」における「田舎へ還ろう戦略」をどう評価し展開していくか。

**A** 20地区の市政懇談会において、各地区の「田舎へ還ろう戦略」の取り組みの報告があり、それぞれ始まってきたと実感した。この取り組みが、これからの地区の未来を拓く実効性のあるものとなるように、市としても各地区の状況に応じて、協働し、必要な支援を行っていきたい。

**Q** 産業振興の中核機関である南信州・飯田産業センターの機能強化を、市として具体的にどう図っていくか。

**A** 機能強化の取り組みをより実効あるものにするために、産業センターは移転を契機に「公益財団法人南信州・飯田産業センター産業振興ビジョン」を策定することとしている。市としては産業センターに工業課の事務室を配置しており、移転後も産業センターの役割や機能が十分発揮できるように、一層連携して取り組んでいく。

**■** リニア中央新幹線の取り組みについて **■** 人と地域が輝く共生社会をめざして **■** 災害に強いまちづくりの推進について



### 地域資源を活かし新たなスタート台に立つ ～人口減少時代を見据えた飯田市の取り組みについて～



代表質問 会派みらい

井坪 隆 議員

**Q** リニアを見据えた大型事業が計画されているが、未来への投資を明確にした財政計画を示されたい。

**A** 財政見直しに基づく平成32年度末の基金残高と債務残高の目標をクリアすることが大前提。その上で、リニア駅周辺整備計画の基本設計が完了し、事業費の概算が見えてきた段階で、改めて考えていかなければならない。財政見直しを示す方法については今後検討する。

**Q** 経済自立度は低い数値のままであるが、市長在任中の今日に至る当地域の産業基盤づくりの成果は。

**A** 市長就任以来、経済自立度を共通の物差しとして産業づくりを進めてきた。持続可能な地域経済には、地域内循環と新たな投資による新産業の創造が重要で、産業振興と人材育成の拠点整備にも繋がった。自立度の分析や政策立案に関わっていただいた多くの方々や意識を共有した飯田ならではのチャレンジが、一つの成果と捉えている。

**■** 「いいだ未来デザイン2028」の戦略計画について **■** リニア関連事業とリニアを見据えたまちづくりについて



### 牧野市長の政治姿勢と 真に市民の皆さまのいのちと暮らしが最優先される市政について



代表質問 日本共産党

古川 仁 議員

**Q** 国民健康保険料の負担軽減のため、一般財源からの繰り入れを増やすべきと考えるが、市の見解は。

**A** 国民健康保険制度が特別会計で運営されている以上は、被保険者の保険料で賄われることが大原則であると受け止めている。また、市民のおよそ80%は国保以外の健康保険に加入されているため、国保会計に対する一般会計からの法定外繰り入れの実施は、慎重に判断する必要があると考えている。

**Q** 在宅で医療機器を使用されている方の把握と、災害による停電時に、命を守るための電源確保対策は。

**A** 在宅医療機器利用者の全てを把握することは困難であるが、各地区の「住民支え合いマップ」により、要援護者は把握されている。各自治体が災害時に不足する全ての物を自前で確保するのは困難であり、トップ同士のホットラインにより、いざという時に融通の利くネットワークを作ろうと全国市長会で議論している。何が足りなくなるかを把握しながら、ホットラインを利用して手を差し伸べられる方策を模索していく。



### 過去を振り返り、10年、20年先の飯田市を思い描いた時 ～住み続けたいと思えるまちづくりについて～



代表質問 市民パワー

福澤 克 憲 議員

**Q** 保育所民営化方針が定められ10年以上が経過し、取り巻く環境も変化している。見直しが必要では。

**A** 今般、国では幼児教育無償化が議論されているところであり、今後、保育・幼児教育に関する認識や、社会の構造的な変化が予想される。無償化について全国市長会、知事会、町村会の3団体と国との間で協議を進めており、一定の方向が出つつある。こうした無償化の方向性を踏まえて市の保育の在り方を検討していかなければならないと考える。

**Q** 空き家の解体を代執行した場合、経費の回収に課題を感じる。実情を国へ要望していく必要がある。

**A** 特定空家に対して勧告や命令を行っても対応されない場合には、行政代執行による解体をせざるを得ない状況に至るが、所有者不在物件などは、その経費の回収には課題があることが想定できる。様々な機会を捉え、解体費の支援について国に要望していきたい。

■働くことを軸とする安心社会の実現に向けて ■産業振興施策について

### 魅力発信に向けた地域運営は



塚 平 一 成 議員 (会派のぞみ)

**Q** 地域協働による物産の創出が産業に結びつく可能性を、魅力発信の視点も含め、どう評価し展望するか。

**A** 地域の魅力の効果的な発信には、訴求力がある「物語」が必要。竜丘地区の鶯流峡整備の取り組みから生まれたメンマや肉まんなどは、高い訴求力を持つ商品で、魅力発信ツールになる。市内イベント等の機会を活用した地域内での認知度の向上と併せ、首都圏や中京圏などでの販売についても効果的な場所と方法を考慮し、取り組みを進めていく。

ここから一般質問

**ズバリ 市政を問う!**

第4回定例会の一般質問の概要を紹介します。(10名・質問順)

■は、そのほかの質問項目

一般質問の様子はYouTubeで動画配信しています

### 20地区公民館の維持と改修は



岡田 倫英 議員 (会派のぞみ)

**Q** リニア関連の財政出動を控える中でも、長寿命化計画をきちんと進めていく必要があるのではないかと。

**A** 各地区に設置されている公民館は、持続可能な地域づくりを支える重要な拠点として位置付けている。長寿命化計画を策定し、優先順位を定めるとともに、財政状況を踏まえて施設の長寿命化及び維持管理に努めていくことが基本的な考え方である。

■リニア・三遠南信時代に向けた遊歩道の活用について

### 飯田市の水道行政は



福沢 清 議員 (会派みらい)

**Q** 水道法改正による「コンセッション事業(水道事業の民営化)」について、飯田市はどうするか。

**A** コンセッションとは、水道施設の所有権は自治体に残り、運営権を民間企業に移管するものである。民間企業の参入を促し、設備の老朽化や経営の健全化などの課題解決を図る一つの方策であるが、課題も指摘されている。飯田市としては他団体の取り組み事例などを参考に慎重に研究していく。

■高齢化社会に伴う農地利用の弾力的運用について

### 地域の宝を生かしたまちづくりは



木下 容子 議員 (市民パワー)

**Q** 地域の宝を生かす取り組みは、庁内連携はもとより市民と協働する仕組みづくりが大切と考えるがどうか。

**A** リニア時代を見据え、「地域ブランドに対し官民協働して取り組むべき」、「多様な資源を市民自ら磨き、その取り組みを繋げることが重要」と議会からも指摘をいただいている。指摘を踏まえ、来年度以降、新たな仕組みで飯田のブランディングを進められないか研究している。大きなうねりを起こせる取り組みを進めていきたい。

### 自転車の安全対策は



小林 真一 議員 (公明党)

**Q** TOJや自転車市民共同利用システムなど、市は自転車と縁が深いので、自転車保険加入義務化の考えは。

**A** 長野県で「自転車の利用に関する条例(仮称)」を制定する動きがあり、その中で自転車損害賠償保険の加入義務化が盛り込まれる見込みである。現在パブリックコメントが実施されており、状況を注視しながら当市でも必要に対応をしていきたい。

■TOJの現状とこれからについて

■飯田市の自転車市民共同利用システムについて

### 上下水道事業の取り組みは



清水 優一郎 議員 (会派のぞみ)

**Q** 飯田市の水のペットボトル化について、飯田ブランドとしての可能性は。

**A** 飯田の水は、以前にペットボトル化した経過があり、その際には、多くの皆さんに飯田の水の美味しさを認識していただいと考えている。飯田の水は、飯田の豊かで美しい自然や、清らかなイメージなど、様々な観点でブランド価値も高いと捉えている。継続的な事業とする方法について、関係する部署による調査研究から始めていきたい。

### リニア時代を見据え、地域資源を生かすには



永井 一英 議員 (公明党)

**Q** 地域資源を生かす取り組みには、財政的支援が必要。ムトス飯田助成事業は期間的に不十分ではないか。

**A** 継続的な財源の確保は重要な課題だと認識している。ムトス飯田助成事業は、同一団体でも事業内容が異なれば助成の対象になる場合があるので相談いただきたい。新たな財源の捻出と、地域の取り組みへの応援者を増やすことについて、ふるさと納税制度の「20地区応援隊」の仕組みを活用いただくことができると考える。

## リニア中央新幹線開通後の飯田市は



木下 徳康 議員 (会派のぞみ)

**Q** これからの飯田市のために「癒やし」をキーワードに「健康の里いいだ」をブランド化したらどうか。

**A** 健康や癒しは飯田ブランドとなり得る重要な要素と捉えている。長野県は日本一の長寿県と言われる。市が進める健康ケア計画などの独自の取り組みを積み上げていく中で、「健康長寿」、「癒しのいいだ」ブランドを作ることには、十分可能と考える。

■「いいだ未来デザイン2028」への市民の関与について

## 学校の夏休み延長の考え方と対応は



山崎 昌伸 議員 (会派のぞみ)

**Q** 学校の猛暑対策は、エアコン設置を大急ぎで、夏休み延長は当事者の意向も踏まえ、慎重に検討すべき。

**A** 夏休み延長の検討は、学習指導要領に定められた年間の授業時間を確保することが大前提となる。現状ではギリギリ確保している状況であるので、夏休みを延長するには、他の長期休暇を短くするか、体験学習や特別学習を減らすという議論になる。各学校の意向を尊重しながら慎重に進めたい。



春！ワークショップで課題整理

## 「読みやすさ」「親しみやすさ」をめざして議会だよりをリニューアル!

広報広聴委員会では、読みやすく、親しみやすい議会だよりをめざして、見直し検討を重ねてきました。文字を大きくするとともに、表紙デザインや割付けもリニューアル。今回号はパイロット版とし、表紙などは今後も改良していく予定です。委員(議員)による編集ですので、力不足があるかと思いますが、今後も読みやすく、親しみやすい広報誌づくりを進めていきます。ぜひ、ご感想やご意見など、お寄せください。

### お知らせ>>>

代表質問・一般質問ページ、委員会ページにある二次元バーコードから、You Tube動画をご覧ください。



夏！表紙の研究・検討

## リニア新時代に向けた土地利用は



新井 信一郎 議員 (会派のぞみ)

**Q** 市内20地区の個性と役割発揮が可能な計画進捗状況か。農有する風景維持の為、立地適正化計画とランドスケープデザインについて。

**A** 「新しい時代の施設をどう作るか」、「リニア駅周辺整備をどう進めるか」といった、リニア時代に向けて進められている様々な議論において、「農ある風景は、世界に通用するこの地域の個性の一つである」という意見が出ています。立地適正化計画や土地利用計画を検討する上で、重要な観点であると認識している。

## 議会でのよりわかりやすい議論を期待して反問権の付与を決定

市長らが議員へ逆に問う「反問権」の付与については、昨年8月に執行機関側から申し入れがあった以降、議会改革推進会議を中心に取り扱いを検討してきました。その結果、第4回定例会において「飯田市議会会議規則」の一部改正を行い、平成31年第1回定例会より運用を開始することとなりました。

飯田市議会において、反問権は、「議員の質疑又は質問に対し、答弁を的確に行うため、その趣旨を明確にすること」を目的に付与するものとしています。この目的を相互に良く理解し、より市民にわかりやすい議論が議会の場で行われることを期待しています。

# 総務委員会

12月10日に委員会を開催しました。委員会の主な審査について紹介します。



委員会の様子は You Tubeでご確認ください

【議案第118号】 廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正に関して

**Q** 一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格は、学校教育法の改正によって新設される専門職大学の前期課程を修了した場合でも得られるという理解でよいか。

**A** 専門職大学の前期課程を修了すれば、短大卒業と同等の資格となり、技術管理者の資格についても短大卒業と同等の扱いとなる。

【議案第126号】 飯田市長の選挙ビラの作成の公費負担に関する条例の一部改正に関して

**Q** 例えば、前回の市議会議員選挙の立候補状況では公費負担はどの程度となるか。

**A** ビラの単価が7・3円で、一人当たり頒布できる上限枚数が4千枚であり、一人当たり2万9千2百円の公費負担となる。昨年の市議会議員選挙の立候補者数25人の場合、75万円弱となる。

【議案第127号】 飯田市下久堅ふれあい交流館の指定管理者の指定に関して

**Q** 指定管理者の指定にあたり、飯田市から費用負担はあるのか。ひさかた和紙の販売も検討しているようだが収支をどう考えるか。

**A** 指定管理料はないものと考えている。ひさかた和紙の販売については、下久堅地区の和紙保存会を中心に、運営も含め検討している。

**Q** 施設利用料の設定は、地区に任せるという理解でよいか。

**A** 指定管理者が、今後の管理方針と利用料金の検討を行い、飯田市長の承認を得て設定していく。



下久堅ふれあい交流館



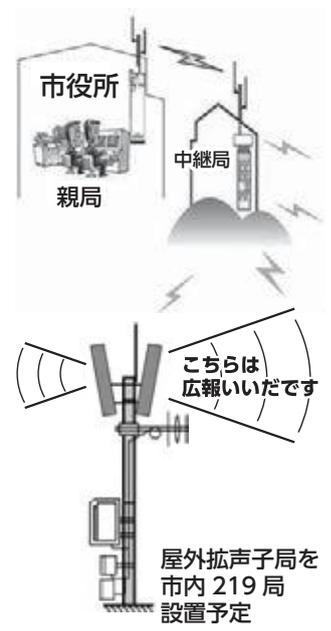
1月末の完成をめざし旧下久堅公民館跡地に建設中

ひさかた和紙の紙漉き体験 (写真はイメージ)

【議案第135号】 防災行政無線デジタル化整備事業にかかる工事請負契約の締結に関して

**Q** 業者の選定ポイントとして「耐災害性の向上」「音達の改善」「総事業費の抑制」を挙げているが、これらは最低限の条件ではないか。

**A** 事業者からの提案を評価して契約先を決定するプロポーザル方式により選定を行ったが、これらは業者選定の条件。業者選定審査委員会では、提案内容が当市の防災行政無線整備の狙いに合致しているか、価格を含めて評価し、優先交渉権者を決定した。また、交渉を進める中で、「最悪の事態が発生した場合でも、情報発信を可能とするため、全ての子局等で非常用バッテリー直流電源装置等を使用し、72時間対応としている点」「聞き取りやすさの向上のため、屋外子局数を削減し、高性能スピーカーを多く採用して、多くの音達域を確保、反響も少なくしていること」、さらに、「提案内容を標準価格と比べて、事業費が抑制されていること」などから、この業者と契約が適当であるとした。



屋外拡声子局を市内219局設置予定

# 社会文教委員会

12月11日及び18日に委員会を開催しました。委員会の主な審査について紹介します。



委員会の様子は You Tubeでご確認ください

【議案第120号】 飯田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正に関して

**Q** これからの人口減少、少子化の時代にあつて、当市における家庭的保育事業の見通しをどう捉えているか。

**A** 当市には、現在、いわゆる保育園の待機児童はいないことから、この事業を早急に拡大する必要はないと考えている。この事業は、自宅で保育を行う事業者の負担も高く、また外部の目が行き届きにくいといったリスクもあることを踏まえ、今後も検討が必要と考えている。ただし、事業所内保育事業については、親の勤め先で保育するものであり、これからの働き方の多様化や、事業所での人材確保に対応できるメリットもある。いずれにしても今後、ニーズ調査を行い、新たな子育て応援プラン策定の中で検討を進めたい。



【議案第130号】 飯田市南信濃障害者等活動支援センターの指定管理に関して

**Q** 指定管理者での人材確保が難しい状況があることから、指定期間が3年間となったとの説明があった。今後の、人材確保と事業の継続性についての市の考えは。

**A** 介護に携わる人材の確保が難しい状況があり、当面、人材確保が確約できる3年間の更新となった。指定管理者も引き続き専門職の確保に努めていく。また、市としても地区における人材発掘や育成支援を行い、人材確保を図りたい。地区で唯一、障がい者が通える施設であり、専門職の確保ができない場合でも、何らかの手法で施設運営に努めたい。

【議案第141号】 平成30年度飯田市病院事業会計補正予算に関して

**Q** 施設の長寿命化事業で、現在使用していない病棟を含め、改修しながら、順次病棟の機能移転を行っていくとの説明であった。改修が終了した段階では、使用していない病棟の活用をどう考えるか。

**A** 一般病棟として使用するのではなく、医師や看護師が様々な訓練を行うトレーニングルームや医療機器を整備する場所、または、リハビリを行う場所などを想定しているが、最終的な院内合意は2020年度までに行う予定。

## 請願・陳情の審査結果

請願・陳情	概要	採決の結果
請願第5号	国に対して、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充の要求にかかる意見書の提出を願う請願	慎重な審査の結果 「採択」
請願第6号	国に対して、35人以下学級推進と教育予算の増額の要求にかかる意見書の提出を願う請願	慎重な審査の結果 「採択」
請願第7号	国に対して、複式学級の編制基準の改善、教職員定数増の要求にかかる意見書の提出を願う請願	慎重な審査の結果 「採択」
請願第8号	国に対して、安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書の提出を願う請願	慎重な審査の結果 「不採択」
陳情第7号	長野県知事に対して、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すことを求める意見書の提出を願う陳情	慎重な審査の結果 「採択」

# 産業建設委員会

12月12日及び18日に委員会を開催しました。委員会の主な審査について紹介します。



委員会の様子は You Tubeでご確認ください

【議案第137号】平成30年度飯田市一般会計補正予算（第8号）の危険ブロック塀等除去事業補助金に関して

**Q** 今回の補助制度では、通学路に面した3百カ所の危険ブロック塀等が想定されているが、既に除却されたものは対象になるのか。

**A** 平成30年6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震がきっかけとなって実施する補助制度であり、平成30年6月18日以降のブロック塀等の除去が対象となる。

**Q** 予定している3百カ所を超えて希望があった場合の対応や空き家物件の対応は。

**A** 基本的には申請順に対応していくことになる。件数はあくまでも予定であり、申請状況に応じて判断していく。今回の制度は、自己負担を伴うものであり、空き家についても所有者の判断により申請いただくことになる。危険なブロック塀等をできるだけ除去していきたいため、まちづくり委員会とも連携して取り組んでいく。



危険なブロック塀等の撤去により安全・安心な通学環境づくりにご協力を

【議案第146・147号】飯田市上村若者センター等の指定管理に関して

**Q** 株式会社上村振興公社を指定管理者として指定する期間が平成30年12月18日までとなった理由は。

**A** 上村振興公社は、労働争議を抱えており、状況の聞き取りを重ねてきた。最近になり、財務の状況が債務超過となり会社経営が苦しく、今後の指定管理業務の履行が困難であることが判明したためこのタイミングで決断した。

**Q** 上村振興公社のこれまでの評価は。

**A** 上村振興公社には、上村地区の11施設の管理運営をお願いしてきており、地元を中心に約50名の雇用が創出されてきた。また、農産物等の地元産品の販売や料理提供など、地域経

済の循環にもつながっており、精一杯頑張ってきていただいたと評価をしている。

**Q** 新しい指定管理者として株式会社大空企画が業務を行うことになるが、ノウハウや運営体制はどうか。

**A** 株式会社大空企画は、上村まちづくり委員会が100%出資しており、上村地区全体で取り組む姿勢を示していただいている。現時点の取締役員は、上村地区の住民となっているが、今後、外部人材や資本金の増額も考えていると聞いている。

**Q** ハイランドしらびそ以外の施設の従業員の雇用は、継続されるのか。

**A** 今までの従業員の雇用を守ることが大切であり、新しい指定管理者のもとで雇用され、今までの経験を生かしていただく。



宿泊施設「ハイランドしらびそ」  
(飯田市上村しらびそ高原施設)

宿泊施設「ハイランドしらびそ」を除く上村地区の10の施設の指定管理者を変更

# リニア推進 特別委員会

12月14日に委員会を開催しました。委員会の主な審査について紹介します。



委員会の様子は  
You Tubeで  
ご確認ください

## 【北条・丹保地区住民説明会について】

北条・丹保地区の代替地整備計画の素案、整備する区域や整備内容の概要、新設道路計画、国道153号と市道との交差点の説明・報告に関して

**Q** 代替の住宅地として70から75区画の造成が計画されているが、移転希望の状況は。

**A** 移転希望は、今後の個別協議の中で明確になつてくると考えているが、これまでの意向確認を踏まえて、必要な画地を整備したい。

**Q** リニア関連事業による移転対象について、上郷地区の移転対象世帯は、駅周辺整備関連47世帯、リニア本線28世帯の合計75世帯となる。座光寺地区は、リニア本線36世帯、座光寺上郷道路で36棟の見込みとすると、上郷地区とほぼ同様な移転世帯数になるが、座光寺地区の代替地の対応状況は。

**A** 共和地区は、南信州広域連合で検討を進めている広域的施設の検討状況を注視しつつ、移転をお願いする皆さまの意向を確認しながら代替地としても検討を進めていく。唐沢・

宮の前地区は地権者の意向確認や道路の検討を進めているが、北条・丹保地区より遅れている。

**要望** 座光寺上郷道路を含め、移転と代替地はリニア全体の問題として捉えるとともに、その対応に格差がないよう要望した。

## 【リニア駅周辺整備検討状況について】

第4回リニア駅周辺整備デザイン会議、リニア駅周辺整備における事業者との意見交流会、リニア駅周辺整備に係る市民説明会の説明・報告に関して

**Q** 駅空間の木格子の大雨根に関して、大雪時の対応は。

**A** 降雪や採光など天候に対しての対応・対策を含め、部材の材質や形状、構造については、今後に検討していく。

**Q** 長野県産の木材を使うことは賛同するが、ランニングコストを含めたコストは。

**A** コスト抑制については、官民連携や広域的な連携による方法などを検討していく。



駅空間のイメージ  
(屋根下イベントスペース)



**Q** 駅周辺に地域の樹種を植栽することは評価できるが、その選定方法は。

**A** 植栽については、市民、学識者やこの地域の樹木医などに相談して選定したい。

**Q** リニア駅周辺整備の基本設計が大詰めに来ていることから、事業費や財政的なことは、いつどのように示されるのか。

**A** 駅周辺整備の事業費については、基本設計のまとめとして、総体的な市の財政を見通すなかで、財源の組立て、官民連携を含む整備手法や整備手順と合わせ、委員会へ報告する。議会全体へ説明が必要と認識しており、今後の具体的な機会設定は相談していく。

委員会の資料は飯田市議会ホームページでご覧いただけます

# 議員紹介

議員の人となりなどを議員自らが紹介します。(議席順に掲載)



～橋北まるごと博物館研究会は今～

福沢 清

橋北地区では「橋北面白クラブ」「春草公園を愛する会」とともに「橋北まるごと博物館研究会」が特別連携団体として橋北まちづくり委員会から認知されています。

橋北まるごと博物館研究会は、平成22年12月に旧測候所をはじめ周辺の資源の活用について研究しようと結成されたものです。現在は「飯田大火」「内山煙火工場爆発」「36災害」の昭和時代に起きた三大災害について、当時直接体験した人から生の声や記録を記憶遺産として、後世に引き継ぐ取り組む活動を行っています。

この活動は記録集をまとめることから始まりましたが、地区文化祭への写真などの展示、36災害を学ぶ勉強会の開催など災害の怖さを残し、未来につなげようというものです。

まず住んでいる地域のことを知ることが、これからの地域存続に大切なことと感じています。



～全ての始まりは勘違いから～

木下 容子

「毎日童話新人賞作品募集」という文字を見て、無謀にも「挑戦してみようか」と思ったのは三十年も前のこと。四苦八苦しながらも書き上げた処女作が、なんと応募作品百五十三編のうちの二席である優秀賞に選ばれてしまった。「私って童話書けるかも」と思ったのが、そもそも勘違いの始まりだ。

その後は、良い作品を書きたい、という気持ちが先走るあまり、書けない、アイデアが浮かばない、という日々の連続。これではいけないと、飯田図書館の文章講座や、飯田女子短大での夏季公開講座で文章や創作童話の勉強を始めた。講座終了時には仲間と一緒に、創作童話の会「つくしんぼ」を立ち上げて、毎月一回の勉強会を続けている。

あれから三十年。この間にはいくつかの賞を戴くことができた。でも、勘違いから始まった活動の本当の財産は、素晴らしい指導者や素敵な仲間に出会えたことだ。童話創作に興味がある方、一緒に勉強しませんか。

表紙紹介

## がんばっとるに!! 遠山

南信濃・上村の遠山地区は、観光スポットが多く、また年間を通じてイベント催事が開催され、地区外から多くの方が訪れます。例年10月の「峠の国盗り綱引き合戦」は、長野県と静岡県との県境兵越峠において、飯田市南信濃の信州軍と浜松市水窪の遠州軍が「国境」をかけて綱引き対決する全国的にもユニークなイベントです。

## 市議会ウォッチング

平成30年 第4回定例会を  
傍聴された方のご意見を紹介します

- 丁寧に答弁(質問も)されていると思うが、聞き取りづらい箇所があった。ゆっくり、はっきり話していただきたい。

## 議会の動き (予定)

- 第1回(3月)定例会は2月26日(火)開会です。
- 一般質問は、3月6日(水)～7日(木)の予定です。
- ※議会への請願・陳情の締め切りは2月20日(水)午後5時です。議会事務局へご提出ください。

## 広報広聴委員会

委員長	新井信一郎	副委員長	古川 仁
委員	岡田 倫英	塚平 一成	小林 真一
	熊谷 泰人	木下 容子	原 和世

# どうする どうなる

ここに注目!

## 産業振興と人材育成の拠点「エス・バード」

座光寺の旧飯田工業高校施設を活用した「産業振興と人材育成の拠点」は、改修・整備が進んでいます。A棟1階に平成30年8月可動のEMCや防爆性試験評価装置などを配置した工業技術試験施設、2階にホール、B棟には、広域連合からの指定管理者として施設を管理する(公財)南信州・飯田産業センターの事務所や会議室等、C棟1階に総合受付と共創の場エリア、2階に平成29年4月に開講した信州大学航空機システム共同研究講座、E棟に食品系研究エリアが整います。残る外構工事を終えて、平成31年3月下旬にオープン予定です。



メインエントランスのイメージ